

## 第7 市町村の合併パターン

### 1 基本的な考え方

合併パターンは、地域の現状や今後の地域全体の発展を展望しながら、合併が想定されるような市町村の組合せを示すものであり、住民や市町村が自主的な合併について具体的な検討を行う際の参考や目安となるものとして作成するものである。

合併パターン作成に当たっては、合併パターン作成のための基準に基づいて、合併を通じて実現すべき目標の類型(本県における市町村合併の類型)を踏まえ、総合的に考察した。

本県では、13の市町村が大分県、熊本県、鹿児島県と隣接しているが、本要綱の合併パターンは県内の市町村のみを対象とする。

現在の市町村の区域の分割や旧町村単位の組合せについては、考慮しないものとする。

一つの市町村が複数の基準を満たすことによって、複数のパターンに属していることがある。

3市町村以上で構成されている合併パターンについては、部分的、段階的な合併の検討など、住民や市町村における、地域の実態に即した他の組合せの検討を妨げるものではない。合併パターンを「叩き台」とする積極的な議論が望まれる。

### 2 合併パターン作成のための基準

#### 基準1：客観的にみた市町村の結びつき

##### 生活圏の一体性

通勤・通学や買物などの生活圏の一体性は、住民の連帯意識の形成に大きく関わっていると同時に、生活圏に対応した広域行政も求められている。

##### 行政サービスの一体性

一部事務組合など広域的な行政サービスにおける圏域設定は、日常生活や経済活動などの地域的結びつきを背景として形成されている。

##### 各種計画・政策上の一体性

広域市町村圏など各種計画・政策上の一体性は、生活圏などの地域的結びつきを背景として形成されているとともに、地域の一体感の醸成にも影響を与えていると考えられる。

## 経済面の一体性

J A や森林組合の地区など経済活動における結びつきは、住民の日常生活に影響を与え、生活圏の形成に関わる。

これらの客観的にみた市町村の結びつきについては、客観的手法で定量的に分析( クラスタ分析)した。(詳細は資料編参照)

### クラスタ分析とは

サンプル間(市町村間)の類似性を距離によって表現し、類似するサンプル同士が同じグループにまとまるように類型化していく多変量解析手法である。

## 基準2：主観的にみた市町村の結びつき

### 地域の歴史的な結びつき

市町村の歴史的な結びつきは、住民の連帯意識の形成に大きく影響を与えていると考えられる。

### 広域行政意識調査結果(平成11年度)

20歳以上の宮崎県在住者2,405人を対象に「合併の組み合わせ」等に関してアンケート調査したものであり、住民の帰属意識、連帯意識などの主観的要素を示すものとなっている。

### 現在の市町村合併の気運

自主的な市町村合併は、住民の意向が重要であり、現在の市町村合併の気運を考慮した。

## 基準3：客観的にみた市町村の規模

### 行政サービスの質・量に最も関係の深い人口規模

人口規模は、行政サービスの高度化・多様化や財政運営の効率化といった合併後の市町村のあり方に大きく関わる項目である。

### 地方公共団体の規模、能力に応じた組織及び権能の差

合併後の人口規模に応じて、中核市、特例市、市への移行や移行に伴う権能の拡大等が目標となる場合も考えられる。

#### 基準4：その他

地方分権のメリットを發揮できること

地方分権の推進のためには、市町村がその受け皿となれるよう行財政基盤の充実が必要である。

共通の行政課題を持っていること

合併の効果として、共通する広域的な行政課題に対して、迅速かつ効率的に取り組むことができるということが考えられる。

### 3 合併を通じて実現すべき目標の類型(市町村合併の類型)

#### (1) 広域連携発展型

広域連携を密接に行っているなど、結びつきの強い市町村同市が合併し、行政サービスの充実や行財政基盤の強化を図るとともに、地域全体の活性化を図る。

#### (2) 地域拠点充実型

地域における既存の中心都市を核として、生活圏など、結びつきの強い市町村が合併することにより、行財政基盤の強化を図るとともに、地域拠点としての都市機能の充実・強化を図る。

#### (3) 市制移行型

合併による市制移行により、行政サービスの充実、行財政基盤の強化等を図るとともに計画的な都市化による圏域全体の発展を図る。

#### (4) 行財政基盤強化型

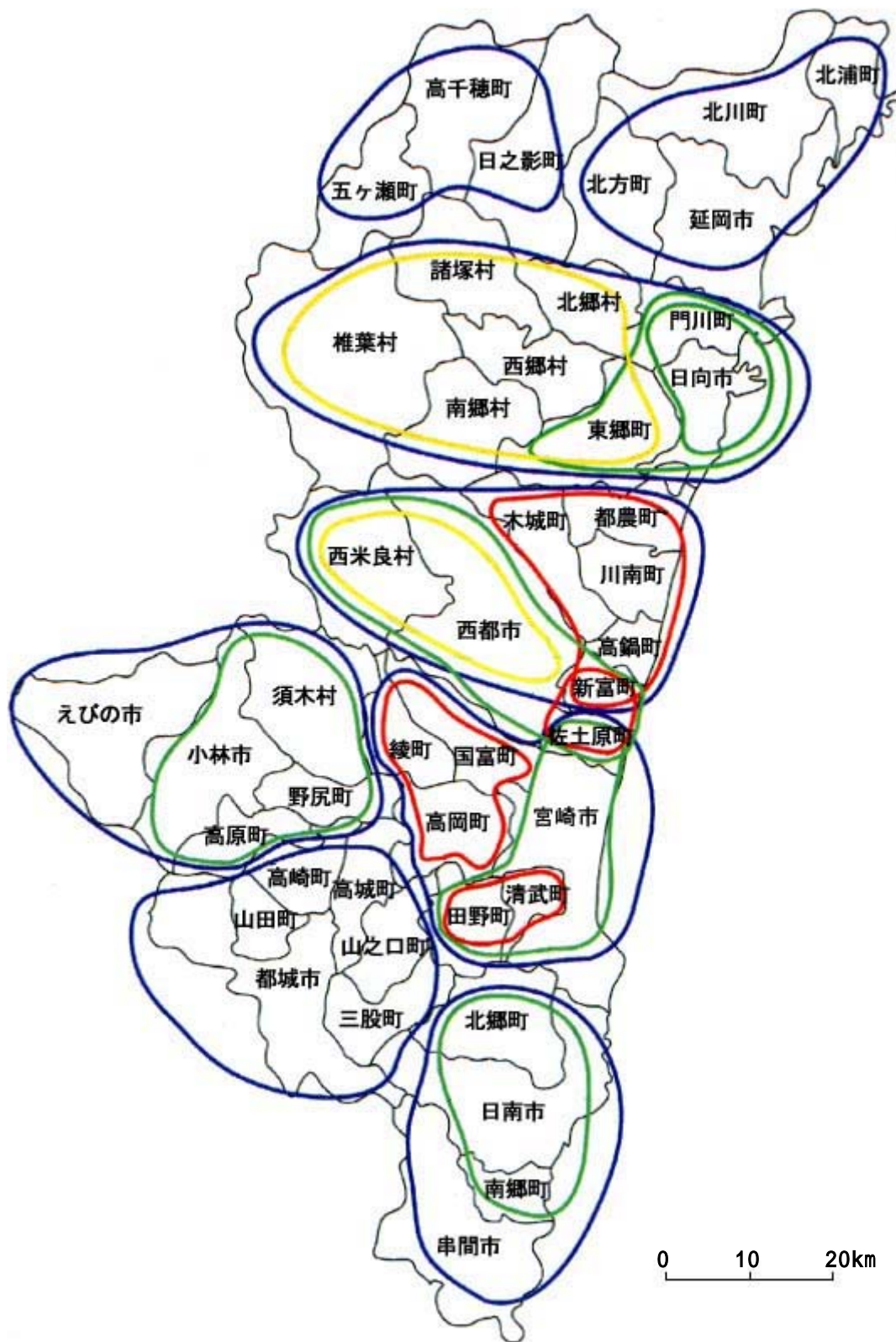
行財政運営の効率化と行財政基盤の強化を図り、適切かつ効率的な基幹的行政サービスの確保を図る。

図表7 - 1 宮崎県における市町村合併の類型

類型名	想定される地域	合併を通じて実現すべき目標等
1 広域連携発展型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連携を密接に行っている地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市部と町村部の機能分担によるバランスのとれたまちづくり</li> <li>・ 広域的な視点に立った公共施設の適正配置</li> <li>・ 特例市への移行</li> <li>・ 行財政基盤の強化による行政サービスの高度化・多様化</li> <li>・ 行財政の効率化</li> </ul>
2 地域拠点充実型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中心となる都市と周辺の町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域的視点に立った土地利用、地域の個性を生かしたゾーニングなど、まちづくりのより効果的な推進</li> <li>・ 地域の中核となるグレードの高い施設の整備</li> <li>・ 地域の存在感やイメージの向上による重要プロジェクトの誘致</li> <li>・ 行財政基盤の強化による行政サービスの高度化・多様化</li> <li>・ 行財政の効率化</li> </ul>
3 市制移行型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣接している町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市制への移行</li> <li>・ 地域のイメージの向上による企業誘致の促進</li> <li>・ 専門職の確保、増強や職員の資質の向上</li> <li>・ 行財政基盤の強化による行政サービスの高度化・多様化</li> <li>・ 行財政の効率化</li> </ul>
4 行財政基盤強化型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間地域において隣接している市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行財政基盤の強化による行政サービスの高度化・多様化</li> <li>・ 行財政の効率化</li> </ul>

4 合併パターン

図表7-2 合併パターン総括図



図表7-3 合併パターンの一覧

類型名	No.	構成市町村	市町柿数	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)
1 広域連携発展型	1	延岡市 北方町 北川町 北浦町	1市3町	867.88	139,176
	2	高千穂町 日之影町 五ヶ瀬町	3町	686.77	26,367
	3	日向市 門川町 東郷町 南郷村 西郷村 北郷村 諸塚村 椎葉村	1市2町5村	1629.06	97,154
	4	西都市 高鍋町 新富町 西米良村 木城町 川南町 都農町	1市5町1村	1154.35	114,381
	5	宮崎市 清武町 田野町 佐土原町 高岡町 国富町 綾町	1市6町	870.41	422,157
	6	小林市 えびの市 高原町 野尻町 須木村	2市2町1村	931.47	87,857
	7	都城市 三股町 山之口町 高城町 山田町 高崎町	1市5町	763.32	195,863
	8	日南市 串間市 北郷町 南郷町	2市2町	831.02	87,068
2 地域拠点充実型	9	日向市 門川町 東郷町	1市2町	456.55	83,474
	10	日向市 門川町	1市1町	237.82	78,284
	11	西都市 佐土原町 新富町 西米良村	1市2町1村	828.66	88,420
	12	宮崎市 清武町 田野町 佐上原町	1市3町	499.91	379,351
	13	小林市 高原町 野尻町 須木村	1市2町1村	648.47	62,951
	14	日南市 北郷町 南郷町	1市2町	536.11	63,422
3 市制移行型	15	高鍋町 新富町 木城町 川南町 都農町	5町	444.23	77,520
	16	佐土原町 新富町	2町	118.54	51,559
	17	高岡町 国富町 綾町	3町	370.50	42,806
	18	清武町 田野町	2町	156.11	41,074
4 行財政基盤強化型	19	東郷町 南郷村 西郷村 北郷村 諸塚村 椎葉村	1町5村	1391.24	18,870
	20	西都市 西米良村	1市1村	710.12	36,861

面積は平成11年10月1日現在

人口は平成12年10月1日現在の国勢調査速報値